

# 奈良のスローフード考える

## 厳選の料理に舌鼓

伝統的な食文化や食材を見直す運動を展開しているグループ「スローフード奈良」（尾川政司会長）の総会が29日、大和郡山市北部山町のレストラン「ル・ペンケイ」であり、会員ら約50人が出席した。

### 大和郡山でグループ総会

スローフード運動「せない食」についても、世界的な取り組み。イタリア・ローマのスペース広場で、毎年1000人以上の店が開店し、イタリアの食文化が食いつぶされることが懸念が高まり、この運動が広がったという。スローフ



スローフードの運動を説明する尾川政司会長。大和郡山市北部山町のル・ペンケイ。

ド奈良では、伝統ある県内産の食材や料理を守り伝え、次世代を担う子どもたちに正しい食育を活動を展開。食育推進会議なども開催している。

総会で、尾川会長は「伝統ある食文化を見直し、食を遊ぶ力を子どもたちに養ってほしい」と呼びかけた。総会後には、奈良や

東日本大震災で被災した若手県の食材を生かした料理での食事も開かれた。出席者は理論と実際の両面からスローフードを再認識していた。